越谷ユネスコ協会

ユネスコ協会綱領　〇心の中に平和の守りを固めよう　〇すべての人間の尊厳を重んじよう
〇教育・科学・文化の発展に努めよう　〇民族間の疑惑と不信を除こう
〇世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう

きたみそう

2015年7月　第20号

越谷ユネスコ協会

発行／越谷ユネスコ協会　発行人／会長 中野　茂
創立／2001年9月29日　事務局／教育総務部・生涯学習課 TEL(963)9283

第１５回越谷ユネスコ協会　総会開催

越谷ユネスコ協会　中野茂会長

今年も、６月１３日（土）第１５回越谷ユネスコ協会定期総会が越谷市中央市民会館（第７会議室）で開催され、無事スタートすることができました。

一般会員１２０名・法人１０社を視野に、ご理解とご協力を頂き活動してまいりました。今後も皆様のご協力をいただきながら活動して参りたいと思います

●主な事業といたしましては、

・「書き損じはがき」回収キャンペーン
・機関紙「きたみそう」年２回発行
・「市民まつり」10月25日参加
・「いのちの大切さ」講座２回実施
・「チャリテイ茶会」28年３月開催
・補助事業協賛
・理事役員会年８回開催が挙げられます。

ところで、昨年１月、日本政府がユネスコに推薦した「明治日本の産業革命遺産」が、世界文化遺産に登録される見通しであることが報道され、大変喜ばしいことです。

1850年代の幕末から明治中期の産業革命群には、鉄砲や大砲をつくるのに必要な金属の溶解炉だった萩反射炉（山口県）や韮山反射炉（静岡県）、鉄鉱石を原料にした鉄の連続生産に成功した橋野鉄鉱山・高炉跡（岩手県）などがあります。

明治維新の重工業の大切な場所として官営八幡製鉄所（福岡県）や三菱長崎造船所（長崎県）、製鉄・造船に必要な燃料である石炭を生み出した「軍艦島」として知られる端島炭鉱（長崎県）や三池炭鉱・三池港（福岡県・熊本県）が対象となります。これらを合わせ８県にま

越谷ユネスコ協会　ホームページアドレス　http://www.unesco.jp/koshigaya/

たがる 23 の資産全体が、ひとつの産業遺産であるという位置づけです。

６月２８日からドイツで始まる世界遺産委員会で決まります。西洋の技術が西洋でない国家に初めて移されて産業になったことに貴重な文化価値があろうかと思っています。　　　　以上

会長挨拶のあと、会長が議長となり、会員１３９名のうち、出席者（委任を含む）８７名で審議が始まりました。

１号・２ 号議案　平成２６年度事業報告・決算が報告されましたが、会員より「※ビブリオバトル」補助金支出について質問がありましたが、小宮山理事より説明があり了承されました。（※ビブリオバトルとは、「本を通して人を知る人を通して本を知る」をコンセプトにして、面白いと思った本を持ち寄り発表し、そしてそれについてみんなでデスカッションを行いみんなが読みたくなった本をチャンプ本とするゲームです。全国大会も開催されています。）　文教大学の先生より大会の案内があり、後援を行いました。

3 号議案　今年度役員改選について、次の役員・理事が承認されました。

会長	中野　茂
副会長	岡本　悦子
副会長	宮﨑　敏博
副会長	小林　光則（理事長兼任）
事務局長	小宮山　大介
会計	鈴木　英男
監事	関根　博樹
監事	服部　正一
理事	有田　三七子
理事	工藤　幸子
理事	高　瑠美子
理事	澤口　明子
理事	中井　正生
理事	本多　茂子
理事	松﨑　繁
理事	山﨑　富士夫
理事	松山　文美代
理事	宮坂　寿子
理事	山田　柊平

以上　１９名の役員・理事で２７・２８年度越谷ユネスコ協会を運営していきます、よろしくお願いします。

4 号議案　２７年度事業計画

・**「書き損じはがき」**回収キャンペーンによる世界寺子屋運動への支援活動

・小学校低学年を対象にした**「いのちの大切さ」**講座

・若いひとへの日本文化の伝承として**「チャリテイ茶会」**の開催

・**「越谷市民まつり」**参加

平成 27 年 10 月 25 日開催「越谷市民まつり」は、山田理事を中心に準備が進められています。

・**「関東ブロック・ユネスコ活動研究会」**

平成 27 年 10 月 24 日（土）

栃木県佐野市開催に参加予定

・その他

補助・後援事業

５号議案　予算案

事業に付帯する予算案は承認されました。

ユネスコ協会綱領　○心の中に平和の守りを固めよう　○すべての人間の尊厳を重んじよう
○教育・科学・文化の発展に努めよう　○民族間の疑惑と不信を除こう
○世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう

第 14 回新春チャリテイ茶会

平成 27 年 2 月 1 日（日）　越谷能楽堂

「新春（チャリテイ）茶会受付」

「新春チャリテイ茶会」が約 450 名の参加で盛大に開催されました・

この茶会は、越谷茶道協会の協力により、年配のかたのみならず若い世代の方の参加を得て、簡単な作法で日本文化の伝統を伝えていこうと毎年開催しています。お茶券を購入していただき一部をチャリテイ資金としてユネスコ活動に活用させていただいています。また、会場にて募金箱を設置し、募金をいただきました。

収益金約 390,000 円・募金 18,500 円は、世界寺子屋運動およびユネスコ活動に有益に活用させていただきます。

「いのちの大切さ」講座

この講座は、いのちとは？・自殺の問題などでこどもたちに実際に、本物の聴診器を使って心臓の音を聞いて、医療にあたられている「あゆみクリニック」の藤川万規子先生のお話・指導で「心臓の働き」・「いのちの大切さ」という大事なことを勉強しています。

越谷ユネスコ協会主催

平成 26 年 12 月 3 日（水）

東越谷小学校 4 年生　（生徒 109 名）

平成 27 年 2 月 27 日（金）

武里南小学校 3 年生（生徒保護者 120 名）

２回開催して、好評を頂きました。

平成 26 年 11 月 28 日（金）

花田小学校で**越谷中央ライオンズクラブ主催**にて開催され越谷ユネスコ協会が後援、運営協力をしました。

今後もこの事業は、地道に子どもたちに命の大切さを伝えていかなければならない大事な事業だと思います。

書き損じはがき回収事業

平成 26 年度 1 年間で、書き損じはがきの回収を行い郵便切手に交換し、売却した収益金が約 170,000 円になりました。世界寺子屋運動支援金として活用させていただきます。

書き損じはがき回収ポスト設置場所

- ●越谷市役所正面入り口
- ●市立図書館入り口
- ●東武線越谷駅改札内
- ●東武線せんげん台駅改札内

●東武線北越谷駅改札内

以上市内５か所にあります。

北越谷駅改札口内はがき回収ポスト（中央緑色）

会員の皆様・またお知り合いにお声掛けをして、協力が頂ければ幸いです。

今期、新たに簡単なタイプのはがき回収ポストを新方地区センター・公民館のロビーに設置させていただきました。

2014 関東ブロック
ユネスコ活動研究会ｉｎぐんま

平成 26 年 10 月 25 日、高崎市開催

『持続可能な社会の創造と実現』—ＥＳＤ・民間ユネスコ活動からの発信—

日本に民間ユネスコ協会がされてから 60 有余年になり、地球社会は激しい変動の中にあり、日本は東日本大震災からの再生を課題としている。社会のグローバル化の進展の中で、日本の国際社会に果たしている役割と使命を改めて考える時でもある。

本年、「持続可能な開発のための教育の 10 年」の最終年をむかえ、世界に発信した民間「持続可能な社会の実現」に向けて、民間ユネスコ精神をさらに発展させるときである。各民間ユネスコ協会が一同に会し、交流・連携を深め民間ユネスコ活動の発展に資するものと思われる。 この研究会に中野会長以下理事 10 名が参加しました。

ユネスコとは？

「教育」「科学」「文化」

※ユネスコの名前に込められた平和のキーワード、第二次世界大戦後の 1946 年に、人類が二度と戦争の惨禍を繰り返さないようにとの願いを込めて創設されました。

UNESCO（United Nation Educational Cuitural Organizaition)(国際連合教育科学文化機関）　国連の専門機関として誕生

（本部　フランス「パリ」）

日本ユネスコ協会連盟とは？

「Unesco 憲章の精神にのっとり、民間ユネスコ運動を推進する」ことを目的に 1948 年に全国のユネスコ協会の連盟体として設立されました。現在では非政府組織（NGO）として「世界寺子屋運動」、「世界遺産・地域遺産活動」、「未来遺産活動」、青少年育成活動」「東日本大震災　子ども支援募金」など多岐にわたる活動を行っています。

緊急支援

2015 年 4 月に発生したネパールの大地震で、避難しているネパールのこどもたちのために、日本ユネスコ連盟を通じて緊急支援を行いました。